期間：令和 6 年 3 月 18 日

＜研修報告＞

言語聴覚士新入職研修　園見学（ナーサリースクールえがおのてんとうむし国分）

○目的　　正常発達の子どもの遊びや関わりについて学ぶ

＜研修内容＞

○1 日の流れ

9：00～　おあずかり

9：30～　おやつ

9：45～　絵本

9：50～　朝の会（歌、名前呼び、体操など）

10：00～　活動

○0、1 歳児への関わり、大事にしていること

・安全面の配慮が必要。必ず目の届く範囲に大人がいることが必須。

・他児との関わりを大人が介入する中で作り、人への興味を育てる。顔をみて関わる機会を作る。

・声掛けは短く擬音語も使いながら、小さい子どもでも分かる言葉を使う。

・生活動作（食事・着替え）の際は何をするのか声掛け。言葉の理解と本人が今何をされているか分かる様に。

○3、4、5 歳児への関わり、大事にしていること

・活動の流れを提示して、自ら行動できる機会を作る。

・着替え、食事は自分で出来ることは自分で。必要時は必要なだけの手伝いを行う。

・順番の理解、待つ機会を作る。

・けんかなどトラブルは大人が仲介し、お互いの意見を言い、納得した上であやまることができるようにする。

○遊びについて

・0、1 歳→ものを渡す、受け取る。玩具を叩いて楽しむなど。大人との関わりを楽しむ。

・3 歳→同じブロック遊ぶ。それぞれで見立てて、飛行機や車を作る。他児との関わりが少しずつ出てくる。

・4、5 歳→3～4 人の集団で遊ぶ。順番を待って遊ぶ。物も貸し借り。鬼ごっこなど簡単なルールのある遊びは大人が居なくても出来る機会が増える。